

摂津市地球温暖化対策地域計画

策定の進め方・方向性

1 策定の主旨

(1) 摂津市地球温暖化対策地域計画について

平成23年度に策定した「摂津市地球温暖化防止地域計画」（以下、「現行計画」という。）が、令和2年度で計画期間が満了となることに伴い、この間の社会情勢や動向を踏まえ、本市の温室効果ガスの排出量の将来推計や削減目標設定、新たな施策の検討等を行うとともに、本計画の各項目全般を見直し、改訂することを目的とする。

(2) 次期計画の策定にあたって

次期「摂津市地球温暖化対策地域計画」（以下、「次期計画」という。）は、現行計画の取組の成果や課題、地球温暖化に係る状況の変化や市民の意向等を踏まえるとともに、市の上位計画・関連計画との整合を図り、国内外の地球温暖化をとりまく情勢の変化などに対応した計画とする必要がある。

〈現行計画策定以降の主な背景の変化〉

年	主な背景の変化	概要	主体
2015年 (平成27年)	「持続可能な開発目標 (SDGs)」の採択	国連が採択した国際社会全体の2030年に向けた環境・経済・社会についての目標	国外
2016年 (平成28年)	「パリ協定」の発効	温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組み	国外
2016年 (平成28年)	「地球温暖化対策計画」の閣議決定	「パリ協定」を踏まえ、地球温暖化対策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画	国内
2016年 (平成28年)	第4次摂津市総合計画基本計画(改訂版)	目指すべき将来像やまちづくりの行動指針などを示した摂津市の最上位計画	摂津市
2018年 (平成30年)	「第五次環境基本計画」の閣議決定	国際的潮流を踏まえた、政府の環境の保全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱	国内
2018年 (平成30年)	「第五次エネルギー基本計画」の閣議決定	エネルギーを巡る国内外の情勢変化を踏まえ、2030年、更に2050年を見据えた新たなエネルギー政策の方向性を示したもの	国内
2018年 (平成30年)	「気候変動適応計画」の閣議決定	気候変動適応に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、適応に関する取組を網羅的に示したもの	国内
2021年 (令和3年)	「次期大阪府地球温暖化対策実行計画」の策定予定	地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するための方向性を示した新たな計画	大阪府

このような背景を踏まえ、計画の策定に必要な調査・検討を実施したうえで、計画の目標や取組を全面改訂し、新たな計画を策定する。

2 策定の方向性

(1) 基本的な考え方

- 社会情勢の動向を踏まえ、市の特性を生かした“摂津らしい”計画とする。
昨今の地球温暖化に係る社会動向の変化を踏まえ、市域の現状・地域の特性を考慮した計画とする。
- 気候変動への適応を位置づける。
これまで取り組みを進めてきた「緩和策」に加え、気候変動による影響の被害を回避・軽減する「適応策」についても取り組みを進める。

(2) 策定にあたってのポイント

次期計画の策定にあたって、以下のポイントを重視する。

■計画の内容に関するポイント

①特に解決を図るべき重要な課題への対応

- ・温室効果ガス排出量の削減および気候変動の影響への適応の観点から、摂津市が特に解決を図るべき重要な課題を明確化した上で、効果的・優先的な対策を位置づける。

②SDGsの達成を見据えた地域貢献型（コベネフィット*型）の計画づくり

- ・これまで計画ではあまり取り扱われてこなかった、まちづくり・交通、産業・観光、健康・福祉等の幅広い関連計画との整合・連携を図ることで、環境の視点から貢献可能な地域課題を抽出するとともに、必要な施策の体系化及び具体化を図る。
- ※コベネフィット：一つの活動がさまざまな利益につながっていくことを指す。

■計画の構成や運用面に関するポイント

①多くの市民や事業者が「手に取り」「読み」「理解」できる計画づくり

- ・市民と計画を共有するため、市が重点的に取り組む目標や施策を明確化する。
- ・市民による理解を促すため、計画内容をイラストで表現するなど読みやすさやわかりやすさへの配慮を行う。

②実効性のある進捗管理手法の構築

- ・これまでの指標の運用実績を検証し、より適切な指標群へと改善する。
- ・計画の進捗管理手法を明確にし、計画の評価、取組の改善が効果的に機能する仕組みを設ける。

3 策定スケジュール（予定）

令和 2年度	庁内検討会議	策定委員会	策定作業（ <input type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 計画策定）
7月	第1回庁内検討会議 ・ 策定の進め方・方向性 ・ 市民等のアンケート調査の実施について ・ 温室効果ガスの算定手法について	第1回策定委員会 ・ 策定の進め方・方向性 ・ 市民等のアンケート調査の実施について ・ 温室効果ガスの算定手法について	環境に関する基礎調査 市民等アンケート調査票作成・準備
8月			
9月	基礎調査結果の報告	基礎調査結果の報告	気候変動に関する基礎調査及び適応策の検討 市民等アンケート調査
10月			骨子案作成 市内主要事業者へのヒアリング
11月	第2回庁内検討会議 ・ 計画素案 ・ 摂津市における温室効果ガス削減目標	第2回策定委員会 ・ 計画素案 ・ 摂津市における温室効果ガス削減目標	素案作成
12月			素案修正（パブコメ案）
1月	パブリックコメント		
2月	第3回庁内検討会議 ・ パブリックコメントの反映結果 ・ 計画最終案	第3回策定委員会 ・ パブリックコメントの反映結果 ・ 計画最終案	最終案作成
3月			答申
摂津市地球温暖化対策地域計画 策定			

(参考) 計画の構成案

前述に基づき、次期計画の内容を以下の通りとする。具体的には、下記に示すとおり現行計画のものを概ね踏襲しつつ、第 5 章に、適応策に関する章を追記する。

現行計画	次期計画 (案)
<p>第 1 章 計画の策定背景</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 計画策定の趣旨 2. 計画の期間 3. 計画の基本的事項 	<p>第 1 章 計画の策定背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ SDGs やパリ協定等の世界的な動向を中心に記載を行う。 ○ 緩和策とともに適応策両輪での対策が必要な点について記述する。 ○ 計画の基本的事項について整理を行う
<p>第 2 章 摂津市の地域特性</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然環境特性 2. 社会的特性 	<p>第 2 章 摂津市の地域特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然、社会特性と現況をあわせて掲載し、温暖化対策に関連する現況と課題について整理を行う
<p>第 3 章 摂津市の温室効果ガス排出量の現状と将来動向</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象とする温室効果ガス 2. CO2 排出量の現状 3. CO2 排出量の将来動向 	<p>第 3 章 摂津市の温室効果ガス排出量の現状と将来動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市における今後の社会動向等の見通しに即して、将来的な温室効果ガス排出を予測
<p>第 4 章 地球温暖化防止のための取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 取り組みの基本的な考え方 2. 目標の設定 3. 地球温暖化対策の基本方針 4. 施策体系 	<p>第 4 章 地球温暖化防止のための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 削減目標について整理を行う ○ 大きな方向性と今後 10 年間にに関する取り組みを記載 <p>第 5 章 気候変動に対する適応策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本市において影響現れているまたは今後想定される事項に関する整理および今後の取り組みについて整理を行う
<p>第 5 章 計画の推進、進行管理について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 計画の推進にあたって 2. 計画の進行管理 3. 計画の広報・啓発活動 	<p>第 6 章 計画の推進、進行管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現行計画と同様に記載を行う